

組織風土研究会委員および事務局の紹介

- ◆ SOMPOインスティテュート・プラスは、2024年4月、組織運営にあたって「組織風土」に着目することの重要性に着目し、本研究会を立ち上げました。
- ◆ 本研究会の立ち上げにあたり、神戸大学経済経営研究所准教授 江夏 幾多郎氏を委員にお迎えしました。

江夏 幾多郎氏

所属：神戸大学経済経営研究所 准教授

略歴：1979年、京都市生まれ。2003年3月に一橋大学商学部を卒業後、
2009年3月に一橋大学で博士(商学)を取得。
名古屋大学大学院経済学研究科の講師などを経て、2019年9月より現職。
2021年7月から2025年7月まで日本労務学会会長。

専攻：人的資源管理論，雇用システム論

主著：『人事評価における「曖昧」と「納得」』(NHK出版、2014年。単著)
『人事管理のリサーチ・プラクティス・ギャップー日本における関心の分化と架橋』
(有斐閣、2024年。共著)

『コロナショックと就労 一 流行初期の心理と行動についての実証分析』(ミネルヴァ書房、2021年。共著)

『人材マネジメントの革新ー理論を読み解くための事例集』(千倉書房、2025年。共編著)

『新・マテリアル人事労務管理』(有斐閣、2023年。共編著)



- ◆ 本研究会の事務局は、SOMPOインスティテュート・プラスの以下の研究員によって構成されています。
- ◆ 主にワーク・エコノミックグロース領域に所属する4名が、先行研究の調査、アンケート設計、ならびに回答データの分析を実施しました。さらに、データサイエンス領域に所属する2名が、自由記述設問に対してテキスト分析の手法を用いて、回答内容をより深く掘り下げました。

氏名	役職	研究領域
中村 岳	研究部長上席研究員	
田上 明日香	上席研究員	ワーク・エコノミックグロース
大島 由佳	上級研究員	ワーク・エコノミックグロース
菅原 佑香	上級研究員	ワーク・エコノミックグロース
久井 環	主任研究員	ワーク・エコノミックグロース
林 勝己	上級研究員	データサイエンス
藤沢 美穂	主任研究員	データサイエンス

参考文献

Edmondson, A. C., *“Psychological Safety and Learning Behavior in Work Teams”*, Administrative Science Quarterly, Vol. 44, No. 2, pp. 350-383, Jun. 1999

James, L. R., *“Aggregation bias in estimates of perceptual agreement”*, Journal of Applied Psychology, 67(2), p219–229, 1982

Schneider, B., Schneider, B., *“Work climates: An interactionist perspective”* (Research Report No.81-2). East Lansing, MI: Michigan State University, Department of Psychology, 1982

エイミー・C・エドモンドソン、野津智子(訳)、村瀬俊朗(解説)「恐れのない組織「心理的安全性」が学習・イノベーション・成長をもたらす」英治出版、2021年

金井篤子・若林満「企業内におけるメンタルヘルス風土に関する研究」(実験社会心理学研究、第38巻第1号、1998年)

牧野順四郎「心理学における行動研究の意義」(心理学評論36巻1号、p3-17、1993年)

宮田洋「Pavlovのノーベル生理学・医学賞について」(生理心理学と精神生理学27 巻 3 号 p225-234、2009年)

八木晃「行動心理学の発展とモチベーションの取り扱いの変遷について」心理学評論6 巻 2 号 p137-160、1962年)

